

横浜緑リーグ馬場会長杯争奪少年野球大会競技運営規則

横浜緑リトルシニア野球協会

1	試合の運営に関する統制は、横浜緑リトルシニア野球協会にて行います。
2	ファールボウルは、直ちにベンチに近いチームが取りに行くようお願い致します。
3	ベンチは、組み合わせの若い番号を一塁側と致します。
4	試合中はゲームに直接関係ない応援の父兄はベンチに入る事ができません。
5	定められた者以外はベンチの白線よりみだりに出てはいけません。
6	試合開始予定時刻前でも、前の試合が終了後20分経過したら開始致します。
7	(1) 試合は 1時間25分 の制限時間をもって、7回戦以内の新しいイニングには入りません。 (2) 規定時間を過ぎ同点の場合は以下のタイブレーク方式をとります。 ※打順1番の選手が3塁走者となり ※打順2番の選手が2塁走者となり ※打順3番の選手が1塁走者とし、1アウトから ※打順4番の選手から攻撃を行います。 この特別ルールに入る時点の守備位置、打順は試合終了まで変更はできず、また選手の交代もできません。 但し、選手が負傷等で出場出来ないと審判が判断した場合に限り、控えの選手との交代を認めます。 尚、当該ルールによる試合は時間に関係なく決着がつくまで行います。
	(3) 1時間25分の制限時間内において7回戦が終了し同点で、且つ、時間が残っている場合は、 8回戦より上記の特別ルールを行います。
8	点差による コールドゲームは、4回10点差、5回以降は7点差 とします。
9	スポーツマンシップにのっとり相手チームを誹謗したり、やじったりしてはいけません。
10	試合前のシートノックは後攻側のチームから5分間ずつとします。
11	選手の交代は、必ず当日登録の監督が球審に申し出ることとします。
12	出場選手の中には 必ず小学6年生を3人以上含むこと とします。
13	抗議は監督と主将・当該選手のみとしますが、 判定に関する抗議は一切認めません。
14	使用球は、 J号球 とします。
15	選手の危険予防及び健康管理についてはチームにおいて十分に留意して下さい。 事故に対する責任は当協会として関知致しません。
16	投手の投球については変化球を投げないよう指導徹底します。
17	当大会の 決勝戦は点差によるコールドゲームは適用しません。 試合は1時間25分を優先し 同点の場合は制限時間の範囲内で9回までとし、以降は7項目(2)を適用します。 以上の規則の遵守、徹底を宜しくお願い申し上げます。